

答 申 草 案 に 対 す る 意 見 に 対 す る 考 え 方

頁	行	委員からの意見		会長・副会長の考え方	
		内容	理由	対応	理由
6	24	<p>(変更)</p> <p>「更なる普及を目指して、適切な利用方法等に対する十分な」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「うまく知っている人の事例を集めて、購入時等に」</p>	<p>より具体的な方が良 いと考えます。</p>	<p>(原文どおり)</p>	<p>「適切な利用方法」は「うまく知っている人の事例」を包括し、「購入時等」と記述すると、むしろ、それだけで終わってしまう可能性がある。</p> <p>また、答申書は制度設計とは異なるため、基本的には具体的な表現は避けることを前提としている。</p>
7	3	<p>(変更)</p> <p>「がありますが、工業都市である 苫小牧では課題も多いため」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「を検討し、昨今の穀物高騰や異 常気象を考える時」</p>	<p>工業都市であっても 循環型社会にもっと 前向きな方が良いと 考えます。</p>	<p>(全文訂正)</p> <p>生ごみの資源化については、今後の技術革新や各市の動向を注視し、調査・研究を進めるべきだと考えます。</p>	<p>「工業都市・・・」の記述については、“後向き”ともとえられるため、削除する。</p> <p>例えば、“生ごみ飼料化による飼料”と“輸入飼料”の価格の比較等を調査・研究した上で、「昨今の穀物高騰や・・・」という記述になるため、「調査・研究を進めるべき」という記述に留める。</p>